令和７年度

上宮太子高等学校　入学試験問題

国　語

（５０分）

〔注意〕次の(1)～(5)をよく読むこと。

注　意　事　項

(1)　この問題冊子は、「開始」の合図があるまで開いてはいけません。

(2)　問題は、1から3まであります。印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等に気付いた場合は、挙手して監督者に知らせなさい。

(3)　解答用紙は、別に１枚あります。解答はすべて解答用紙に記入しなさい。

(4)　受験番号・名前は、問題冊子と解答用紙の両方に記入しなさい。

(5)　「終了」の合図で、筆記用具を置きなさい。

受　験　番　号				名　　前

1　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

世代間のギャップは、いつの世にもあるものだと思う。若い側は、年寄りの価値観に合わせようとする。なにしろ、親とか先生とか上司とか、たいていは歳上（としうえ）の者が権力を持っていて、それに従って、気に入ってもらわないと自分の立場が危うくなるからだ。［A］、これは明らかにストレスになるし、自分をすっかり変えたわけでもないから、どこかで爆発したり、離れていってしまったりすることにもなるだろう。

上の者も、自分たちの価値観が当たり前に通じると思っていては、そのグループにとってマイナスになる。若者の価値観を取り入れて、できるだけ改善していく気持ちはあっても、やはり対処は遅れ気味になるし、根本的に気づいてもいないという場合だって①散見される。

面接に臨む若者は、仕事に対してやる気があるところを見せる。「やりがいのある仕事がしたい」と言葉では語るだろう。しかし、そもそも、「やりがい」というものがどんな②概念なのか、若者たちはまだ知らない。知らないのに、言葉だけでそう言って、気に入ってもらおうと振る舞っているだけなのだ。そして、振る舞っているうちに、自分でも、言葉だけで「そういうものがあるはずだ」と信じ込んでしまう。

これが、「仕事のやりがい」という幻想に関して生じる問題の根源だ。その言葉を使っているうちに、個人個人がそれぞれ、勝手に夢を見ているだけなのである。

「やりがい」というのは、他者から「はい、これがあなたのやりがいですよ。楽しいですよ、やってごらんなさい」と与えられるものではない。そんなやりがいはない、というくらいはわかるだろう。ところが、今の子供たちは、すべて親や学校から与えられて育っている。ゲームもアニメも、他者から与えられたものだ。ほとんどの「楽しみ」がそうなのだから、「やりがい」も@きっとそういうふうに誰かからもらえるものだと信じている。どこかに既に用意されていて、探せば見つかるものだと考えている。

ⓑそんな若者が、会社に入って、やりがいがもらえないか、と人を見て、やりがいはどこにあるのか、と周囲を探す。でも、誰もくれないし、どこにあるのか見つけられない。

③何故（なぜ）、見つからないのだろう？

それは、「やりがい」がどこかに既に存在している、と勘違いしているからだ。

「やりがい」というのは、変な言葉である。［B］、食べがいがある、といえば、それは簡単には食べられないもの、ボリュームのあるものを示す。「やりがい」に似た言葉で、「手応え」というのもある。これも同じで、簡単にはできない、少し抵抗を感じるときに使う。

手応えのある仕事というのは、簡単に終わらない、ちょっとした苦労がある仕事のことである。同様に、やりがいのある仕事も、本来の意味は、やはり少々苦労が㋐伴う仕事のことだ。

しかし、たとえば、自分が能力不足だったり、準備不足だったり、失敗をしてしまったり、計画が甘くて予定どおり進まなかったり、そんなことで苦労を強いられるからといって、それで「やりがいのある仕事」になった、とは言わないだろう。

そう勘違いをしている人もいる。最初は怠けておいて、〆切（しめきり）間際で徹夜をして、なんとかぎりぎり間に合わせる。そういうもので仕事の手応えを感じ、達成感や満足感を味わう、という人が実際にいるのだ。ＴＶ番組のヤラセのようなものである。

本当に素晴らしい仕事というのは、最初からコンスタントに作業を進め、余裕を持って終わる、そういう④「手応えのない」手順で完成されるものである。この方が仕上がりが良い、綺麗（きれい）な仕事になる。

ただ、こういう仕事ができるようになるためには、沢山の失敗をして、自分の知識なり技なりを蓄積し、誠実に正確に物事を進める姿勢を㋑イジしなければならない。さらに、時間に余裕があるときには、勉強をして、新しいものを取り入れ、これはなにかに活（い）かせないか、ここはもう少し改善できないか、と常に自分の仕事を⑤センレンさせようとしていなければならない。この［X］にこそ、手応えがあり、やりがいがあるのだ。

〆切間際で見つけられるやりがいはない。仕事が終わったときに、打ち上げで酒を飲む暇があったら、そのときにこそ、次の手を考えて、やりがいを作る方が自分のためだろう。

物事を成し遂げたり、小さな成功があったときに、すぐにお祝いをして、酒を飲んで、酔っぱらって大騒ぎをする。そ

れが、仕事の楽しさ、やりがいだと勘違いをしている光景をよく見かける。

こういう宴会では、みんなが笑顔になっているし、自分も楽しい思いができるかもしれない。そういった休息は、必要なものともいえる。しかし、それは仕事ではⓒないし、ましてやりがいではない。ⓔ甚だしい誤解だ。

酒を飲んで酔っぱらっているときに、仕事のアイデアの一つでも浮かぶだろうか。人間関係が酒の席で築けるなんて言うけれど、酒の席で壊れた人間関係の方がずっと多い。勘違いしないでもらいたい、と僕は常々思う。

おそらくは、戦後の成長期のビジネスマンたちは、こういったところでしか遊ぶことができなかったのだろう。これが、彼らの趣味だったのだ。［C］、その趣味に人生のやりがいを見つけたというだけのこと。それを勘違いして、「これが男の仕事だ」と思い込んでしまい、それを後輩にも教えようとしている。そういう人がまだ残っているのである。

繰り返していうが、人生のやりがい、人生の楽しみというものは、人から与えられるものではない。どこかに既にあるものでもない。自分で作るもの、育てるものだ。

子供の頃にその育て方を見つけた人は運が良い。なかには、せっかく見つけたのに、大人や友人たちから、「そんなオタクな趣味はやめろ」と言われて、失くしてしまった人もいるだろう。そう、やりがいとか楽しみというものは、⑤えてしてこのように他者から妨害される。周囲が許してくれない、みんなが嫌な顔をする、もっと酷(ひど)い場合は、迷惑だと言われてしまう。でも、自分はそれがやりたくてしかたがない。このときに受ける「抵抗感」こそが、「やりがい」である。その困難さを乗り越えることこそ、「楽しみ」の本質だと僕は思う。

もちろん、いくらやりたくても犯罪は困る。これは、この社会に生きるためには問題外だ。この場合は、周囲が反対するのも当然だろう。しかし、犯罪でもないし、実質的な迷惑を工夫によって回避できるのならば、自由になにをしても良いはずだ。現代では、個人の権利として、その自由がⓐホショウされている。

子供のときには、経済力がないし、場所も自由に使えないし、時間だって制約があるだろう。だから、やりたくてもできないことは多かった。でも、大人になったら、なんでもできるようになる。この言葉のとおりだ。それなのに、大多数の大人は、「そう思っていたけれど、大人になってみたら、やっぱり制約が多くてできない」とこぼす。そういう人が「仕事にやりがいが見つからない」と言う。結局、子供のときの制約を背負って、そのまま大人になってしまったといえるが、

その背負っている制約というのは、ほぼ「⑥本人の思い込み」である。

人気のある会社に就職し、人も羨む美形と結婚し、絵に描いたような家庭を築き、マイホームを購入して、という生活を送っている人でも、人生のⓓやりがいを見つけられない人が沢山いる。偏差値が高いから、この大学に入った、この学科を選んだ、というのと同じで、たまたま能力的に勝っていたため、あっさりとなにもかもが手に入ってしまったけれど、しかし、自分で望んだ道ではない。その「人も羨む人生」に縛られて、自分がやりたいことをⓔ遠ざけてしまった結果といえる。

（森博嗣「『やりがいのある仕事』という幻想」出題の都合上、一部改変した部分がある）

問１　傍線部㋐～㋔のカタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで答えなさい。

問２　傍線部ⓐ～ⓔの品詞名として最も適当なものを、それぞれ次の**ア**～**コ**から一つずつ選んで、記号で答えなさい。（ただし、同じ記号は使ってはならない）

ア　動詞　　**イ**　形容詞　　**ウ**　形容動詞　　**エ**　名詞　　**オ**　副詞

カ　連体詞　　**キ**　接続詞　　**ク**　感動詞　　**ケ**　助動詞　　**コ**　助詞

問３　本文中の［A］～［C］に入れるのに最も適当な言葉を、それぞれ次の**ア**～**オ**から一つずつ選んで、記号で答えなさい。（ただし、同じ記号は使ってはならない）

ア　したがって　　**イ**　また　　**ウ**　なぜなら　　**エ**　しかし　　**オ**　たとえば

問４　傍線部①「散見される」・②「概念」・⑤「えてして」の意味として最も適当なものを、次の**ア**～**エ**からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。

①「散見される」

ア　まれに見てしまう
イ　見る可能性がある
ウ　あちこちで目に入る
エ　うっかり見てしまう

②「概念」

ア　物事の中心となるもの
イ　物事の大まかな意味内容
ウ　物事の隠された真実
エ　物事の大切なことがら

⑤「えてして」

ア　そうなる傾向がある
イ　突然にそうなる
ウ　結果的にそうなる
エ　毎回かならず起こる

問５　傍線部③「何故、見つからないのだろう」とありますが、これについての理由を説明した次の文の［　　］にあてはまる内容を、本文中から十三字で抜き出して答えなさい。（句読点や記号を含む）

・「やりがい」とは、本来［　　］なのに、既にどこかに存在していると勘違いしているから。

問６　傍線部④「『手応えのない』手順」とはどのようなものですか。「手応えのある仕事」との違いを踏まえて説明しなさい。（ただし「～ではなく」という言葉を使って記述すること）

問７　本文中の［　X　］に入れるのに最も適当な言葉を、次の**ア**～**オ**から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア　自己矛盾　　**イ**　自己嫌悪（けんお）　　**ウ**　自己実現　　**エ**　自己顕示　　**オ**　自己鍛錬

問８　傍線部⑥「本人の思い込み」とありますが、これはどのようなものですか。これについて説明した次の文の［　　］にあてはまる内容を、本文中から三十字で抜き出して答えなさい。（句読点や記号を含む）

・子供のときと同様の、［　　］という考え。

問９　本文の内容を読んだ後に、Aさん、B君、C君、Dさんが話し合いをしました。本文の内容にあてはまる意見には「○」、あてはまらない意見には「×」を付けなさい。

Aさん「仕事のやりがいって、何かをやり終えた時にみんなでお祝いしたり、喜びを分かち合ったりするときに感じるものだと筆者は考えているわね。」

B君　「小さな成功であっても、お祝いをして楽しい思い出ができると、次の仕事をする時のやりがいにもつながっていくからね。」

C君　「大人になってもやりがいが見つからない人はたくさんいると言うね。やりがいは、むしろ好奇心が旺盛な子供の頃の方が見つけやすいと思うな。」

Dさん「子供の頃はやりがいを見つけても、周囲の人たちに邪魔をされてしまうこともあり、その困難さを乗り越えていく必要があるけどね。」

2 総合的な学習の時間に「新聞とその他のメディア」について、生徒たちが資料をもとに話し合っています。これを読んで、後の問いに答えなさい。

A君　人々の「新聞離れ」が社会問題になっているね。

B君　今はどんなメディアが中心となっているんだろう。やっぱりインターネットの登場は大きく影響しているだろうね。それまでマスメディアの代表として君臨してきた新聞やテレビについて、その購読者数や視聴率にも間違いなく影響を与えていると思うな。色々な資料があるから見てみよう。

Cさん　ひと口に「新聞を読む」と言っても、新聞はどれくらいの頻度で読まれているのかしら。毎日読む人もいれば、たまにしか読まない人もいるわよね。①【資料1】を見てみましょうか。

Dさん　そう言えば、今は新聞がネット上でも見られるようになったわね。紙版と電子版はそれぞれの良さも違うでしょうし、どちらを好むかも人それぞれだと思うのだけれど、実際には紙版と電子版のどちらの方が読まれているのかしら。

A君　紙版で読むか、電子版で読むかを分析する時、【資料2】のグラフの中の、［　I　］は除外して考えないといけないね。

B君　どちらにも該当しないからね。「紙の新聞を読む（電子版はほぼ読まない）」と、「どちらかといえば紙の新聞を読むことが多い」の合計は［　II　］を上回っているね。一方で、「電子版の新聞を読む（紙版はほぼ読まない）」と、「どちらかといえば電子版の新聞を読むことが多い」の合計は［　III　］という結果だね。

Cさん　他にも、新聞の発行部数の推移や、新聞が読まれなくなってきた理由も考えてみましょうよ。今はみんなスマホやテレビを持っているから、新聞じゃなくても知りたいと思ったことの大抵は他で調べられるのよね。【資料3】を見ると、［　IV　］ことが読み取れるわ。

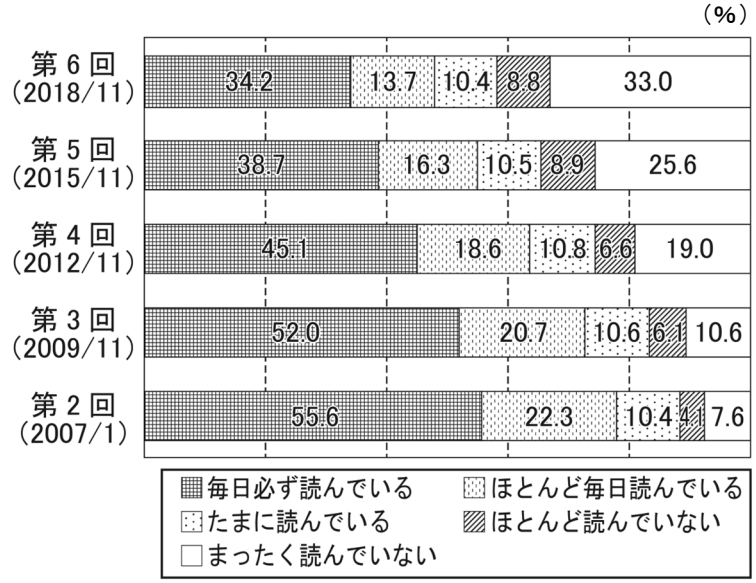
Dさん　でも、なぜ新聞が選ばれないのかしら。【資料4】で「月ぎめ（月毎（ごと）の定期購読）で新聞を取らない理由」が考察できるわ。「新聞の購読料」を理由に読まない人が40％近くもいるのね。新聞はお金を払って初めて見られるコ

ンテンツだから、純粋に新聞を「読みたいか」か「読みたくないか」を調べたいなら、［　V　］と
いうアンケートがあってもおもしろいと思うわ。

A君　②【資料５】と【資料６】を見ると、新聞以外のメディアとの比較ができるね。

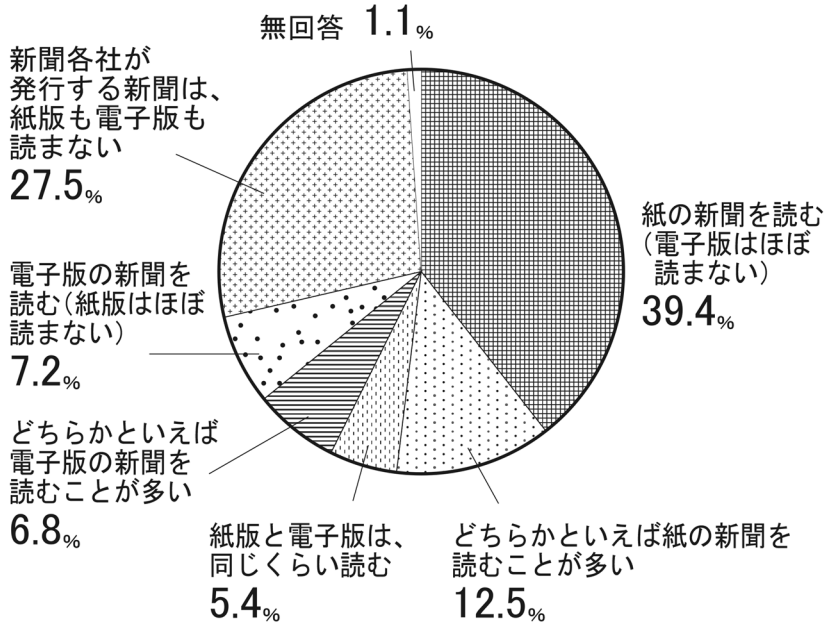
（さらに議論は続く。）

【資料１】新聞閲読頻度



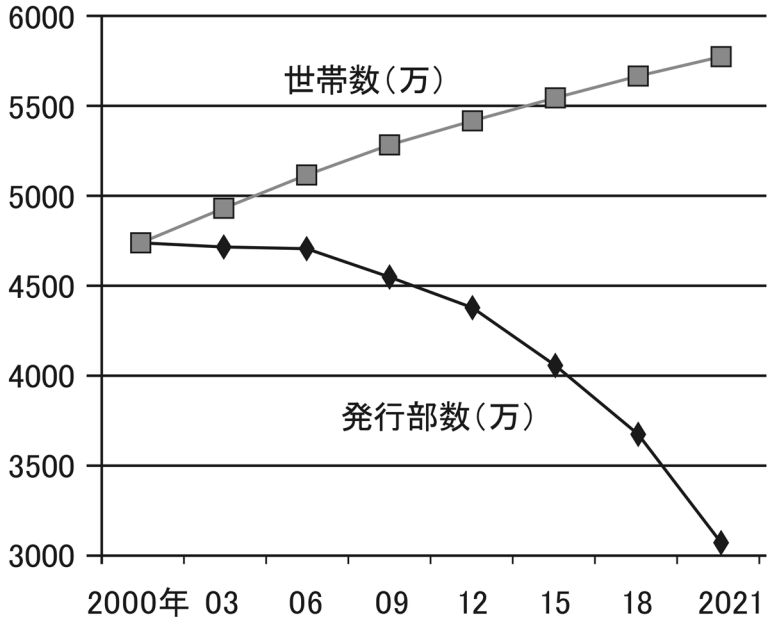
マイボイスコム株式会社の調査結果による

【資料２】新聞の紙版と電子版の閲読度合い



マイボイスコム株式会社の調査結果による

【資料３】新聞の発行部数と世帯数の推移



一般社団法人 日本新聞協会の調査結果による

【資料４】月ぎめ（月毎の定期購読）で新聞を取らない理由

順位	理由	答えた人の割合（%）
1位	テレビやインターネットなど他の情報で十分だから	74
2位	新聞の購読料は高いから	37.9
3位	新聞を読む時間がないから	29.9
4位	新聞を読む習慣がないから	26.1
5位	紙の新聞は、処分が面倒だから	24
6位	家族がとらないから	12
7位	職場や学校、図書館などで読むから	8.9
8位	駅やコンビニなどで買うから	4.3
9位	新聞には、自分に役立つ情報が少ないから	3.3
10位	何となく	3.3
11位	もともと世間の動きに関心がないから	2.1

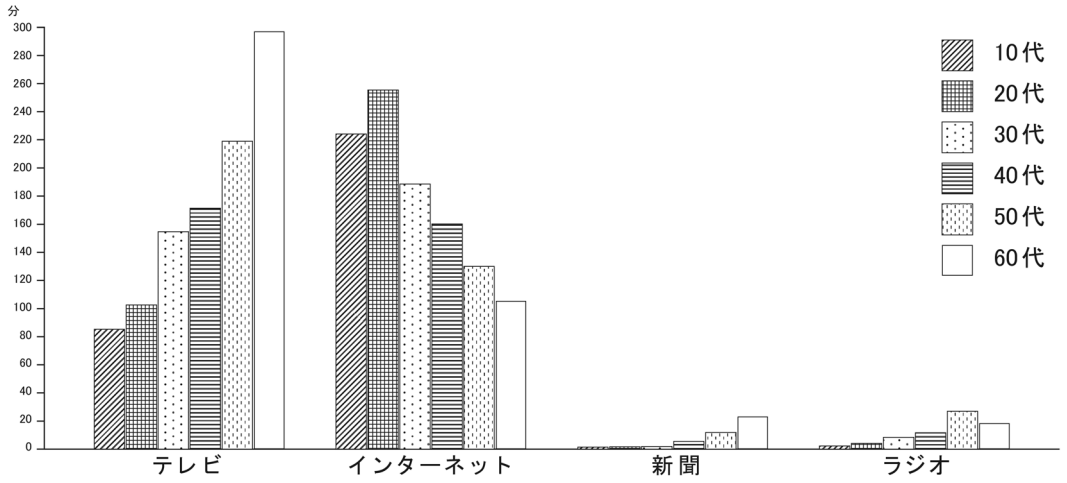
公益財団法人 新聞通信調査会の調査結果による

【資料５】ニュースを視聴する際の手段

	テレビを見る	新聞を読む	ラジオを聴く	テレビ局や新聞社等報道機関のWEBサイトを見る	インターネットのニュースサービス(Googleニュースや Yahoo!ニュース等)をWEBブラウザで見る	スマートフォン等のニュースアプリ(Gunosy、LINE NEWS、Smart News 等)で見る
20代以下	57.8	3.8	1.0	0.5	21.5	5.0
30代	50.8	7.3	3.8	1.0	30.5	3.5
40代	54.3	9.0	3.3	1.3	27.3	2.0
50代	54.5	12.3	2.8	1.5	25.0	3.5
60代以上	51.8	21.8	3.0	2.3	19.0	0.5

総務省の調査結果による

【資料６】情報通信メディアの利用時間



総務省の調査結果による

問１　傍線部①「【資料１】を見てみましょうか」とありますが、【資料１】から読み取れる内容として**不適当なもの**を、次の**ア**～**エ**から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア　新聞を「毎日必ず読んでいる」人と、「ほとんど毎日読んでいる」人は共に減少傾向で推移している。

イ　新聞を「たまに読んでいる」人の比率はこれまでの５回の調査に関してはあまり変化が見られない。

ウ　新聞を「毎日必ず読んでいる」人と「ほとんど毎日読んでいる」人の合計は２００７年では７５％を超えている。

エ　２０１８年には新聞を「まったく読んでいない」人と「ほとんど読んでいない」人の合計は半数を超えている。

問２　次の⑴・⑵の問いにそれぞれ答えなさい。

⑴　［　Ⅰ　］に入る言葉として最も適当なものを、次の**ア**～**エ**から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア　新聞各社が発行する新聞は、紙版も電子版も読まない

イ　電子版の新聞を読む（紙版はほぼ読まない）

ウ　どちらかといえば電子版の新聞を読むことが多い

エ　どちらかといえば紙の新聞を読むことが多い

⑵　［　Ⅱ　］・［　Ⅲ　］に入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを、次の**ア**～**エ**から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア	Ⅱ	５割	Ⅲ	２割強	**イ**	Ⅱ	５割	Ⅲ	１割強
ウ	Ⅱ	７割	Ⅲ	２割強	**エ**	Ⅱ	７割	Ⅲ	１割強

問３　［　Ⅳ　］に入る言葉として最も適当なものを、次の**ア**～**エ**から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア　世帯数はここ２０年ほどで約１０００万世帯増加しているが、発行部数は２０００万部近くも減少している。

イ　世帯数はここ２０年ほどで約１０００万世帯増加しているが、発行部数は５０００万部近くも減少している。

ウ　世帯数はここ２０年ほどで約１０００万世帯減少しているが、発行部数は２０００万部近くも増加している。

エ　世帯数はここ２０年ほどで約１０００万世帯減少しているが、発行部数は５０００万部近くも増加している。

問４　［　Ⅴ　］にあてはまる内容を考えて答えなさい。

問５　傍線部②「【資料５】と【資料６】を見ると、新聞以外のメディアとの比較ができるね」とありますが、二つの資料から読み取れる内容として**不適当なもの**を、次の**ア**～**エ**から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア　【資料５】を見ると、ニュースを視聴する際のテレビ利用率は、新聞利用率と比べて年代による差が少ないことがわかる。

イ　【資料５】を見ると、どの世代においてもテレビや新聞よりもラジオを視聴して情報を得ようとする人の割合は少ないことがわかる。

ウ　【資料６】を見ると、年代が高くなるにつれてテレビ利用率が高いが、ラジオの場合はそうではないことがわかる。

エ　【資料６】を見ると、二十代までの世代はそれ以上の世代に比べ、ネットの利用に時間を割いてニュースを視聴していることがわかる。

3　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

これも今は昔、※多田満仲のもとに猛く悪しき※郎等ありけり。物の命を殺すをもて業とす。野に出で、山に入りて鹿を狩り鳥を取りて、いささかの善根する事なし。ある時出でて狩する間、馬を馳せて鹿追ふ。矢をはげ、弓を引きて、鹿に随ひて走らせて行く道に寺ありけり。その前を過ぐる程に、きと見やりたれば、内に地蔵立ち給へり。左の手をもちて弓を取り、右の手して笠を脱ぎて、いささか［　X　］をいたして馳せ過ぎにけり。

その後いくばくの年を経ずして、病つきて、日比よく苦しみ煩ひて、命絶えぬ。冥途にⓐ行き向ひて、閻魔の庁に召されぬ。見れば、多くの罪人、罪の軽重に随ひて打ちせため、ⓑ罪せらるる事いといみじ。我が一生の罪業を思ひ続くるに、①涙落ちてせん方なし。

〈仕事にしていた〉　〈少しも良い行いをする事がない〉　〈つがえ〉　〈ちらりと〉　〈立っていらっしゃった〉　〈責め苦を受け〉　〈涙をこらえきれなかった〉

かかる程に、②一人の僧出で来たりて、のたまはく、「※汝を助けんと思ふなり。早く故郷に帰りて、罪を懺悔すべし」とのたまふ。僧に問ひ奉りて曰く、「③これは誰の人の、かくは仰せらるるぞ」と。僧答へ給はく、「我は汝鹿を追うて寺

〈こうしているうちに〉　〈おっしゃるに〉　〈人間界〉　〈申し上げて言うには〉

の前をⓒ過ぎしに、寺の中にありて汝に見えし地蔵菩薩(じざうぼさつ)なり。汝罪業深重(じんぢゆう)なりといへども、いささか我に※帰依(きえ)の心の起りし功によりて、吾(われ)いま汝を助けんとするなり」とⓓのたまふと思ひてよみがへりて後は、殺生(せつしやう)を長く断ちて、地蔵菩薩につかうまつりけり。

（「宇治拾遺物語」）

※「多田満仲」……平安中期の武将。源満仲の異称。
※「郎等」……武士の家来。
※「汝」……お前。あなた。
※「帰依の心」……神仏にすがろうとする気持ち。

問1　二重傍線部ⓐ～ⓓの主語は誰ですか。最も適当なものを、それぞれ次の**ア**～**エ**から一つずつ選んで、記号で答えなさい。（ただし、同じ記号を二度以上用いても良い）

ア　多田満仲　　**イ**　郎等　　**ウ**　僧　　**エ**　多くの罪人

問2　傍線部①「涙落ちてせん方なし」とありますが、なぜですか。その理由を四十字以内で答えなさい。（句読点や記号を含む）

問3　傍線部②「一人の僧」の正体は何でしたか。本文中から抜き出して答えなさい。

問４　傍線部③「これは誰の人の、かくは仰せらるるぞ」の意味として最も適当なものを、次の**ア**～**エ**から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア　どこの誰かわからない人が、私は助からないとおっしゃるのですか。

イ　人間界に戻る方法を教えようとおっしゃるのはどこの誰ですか。

ウ　誰が罪を悔い改めることはできないとおっしゃるのですか。

エ　私を助けてやろうとおっしゃるのはどこのどなた様でしょうか。

問５　空欄［　X　］に入る言葉を本文中から五字以内で抜き出して答えなさい。

問６　本文の内容と合っているものを、次の**ア**～**エ**から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア　郎等は生活のためにやむをえず鹿や鳥を捕って暮らしを成り立たせていた。

イ　郎等は閻魔大王の法廷に呼びだされ、生前の多くの罪を厳しく罰せられた。

ウ　郎等があの世で出会った僧は、自分の主人であった多田満仲が遣わせた者だった。

エ　郎等は生き返ったあとは心を入れかえて生き物を殺さず、神仏にお仕えした。

問７　この話から得られる教訓として最も適当なものを、次の**ア**～**エ**から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア　仏をうやまい、信心を心がけていれば功徳（くどく）を授かることがあるということ。

イ　むやみに殺生を続けていては、祟（たた）りで病にかかってしまうということ。

ウ　ほんの出来心でした行為でも、思わぬ幸運を得ることがあるということ。

エ　罪を犯したら、一生かけてその罪を償わなければならないということ。